

【7月3日】いじめについて考える日に向けて

みんなが笑顔で生活できるように、いじめ防止につながる活動については、4月から常に考えてきました。その取り組みを線で結ぶ日が7月3日です。

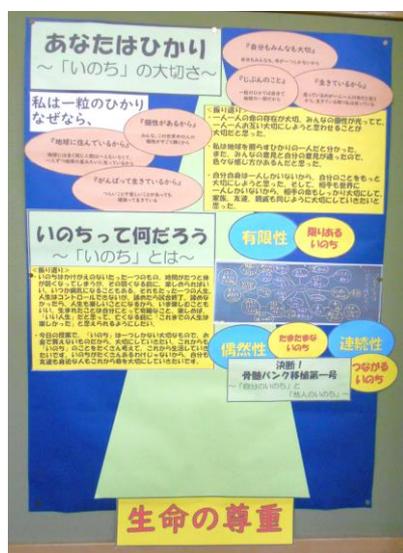


3年生では、義務教育最後の修学旅行が全員の楽しい思い出となるように、お互いのよさを見つける取り組みをしました。
 出発前に、さらに仲間との絆が深まりました。

生活委員会の願い、提案を受けて、全校で「ぼかぼかキャンペーン」に取り組みました。2年生では、独自の視点をもつことで、自分から進んで仲間のよさに目を向けることができるようになりました。



1年生では、道徳の授業を通して、命の大切さについて学びました。
 自分の命も、自分の周りにいる人の命もみんな大切であること。そのことを理解した上で、自分には何ができるのか・・・仲間と意見を出し合いながら、自分自身の考えを深めていくことができました。



【7月3日】いじめについて考える日

〈校長先生の話〉

- ・あなたの代わりになる人は誰もいません。ここにいる一人一人が、かけがえのない存在です。
- ・わたしたちはいろいろな人から見守られています。誰もが大切な人とのつながりの中で生きているという自覚をもちましょう。
- ・仲間とは何かということをしかりと考えましょう。違う意見をもっていたり、自分が思っている行動と違う行動をしたりする仲間もいます。だからといって、相手の嫌がることをしてはいけません。相手の気持ちと向き合い、想像力を働かせて適切に行動すれば、そこは居心地のよい集団が集う場となり、自分も仲間も高まっていきます。



いじめについて考える日をきっかけに、いじめゼロに向けての具体的な動きとして、全校で「藍東 HERO 宣言」の取り組みを行いました。

藍川東中学校には、いじめゼロの実現に向けて卒業していった先輩たちがつくった「藍川東中学校 人権宣言」が、どの教室にも目につくところに掲示してあります。全文には、「笑顔があふれ、誰もが安心して生活できる学校を目指します。」とあり、1～3条に渡って、「個性の尊重」、「信頼」、「平等」を大切にすることを宣言しています。

いじめゼロの実現のためには、取組を点で終わらせるのではなく、常に自分たちの活動、自分の行動をこの「藍川東中学校 人権宣言」の内容と照らし合わせて、評価・改善していく必要があると考えています